

〈視覚補助具〉 **段差で計れる計量カップ**

視覚障害者が分かりやすいように、50ミリリットル（1/4カップ）ごとに段差がついています。また、うっかり落としてしまっても壊れにくいように、軽くて丈夫で安全性の高いトライタン樹脂で作られています。

〈視覚補助具〉 **白黒両用まな板**

食材の色で、まな板の色を変えられるようになっていています。切る物を見やすくしたり、距離感をつかみやすくすることで、丁寧に切るだけでなく、怪我防止にもつながります。

〈視覚補助具〉 **フラック綿棒**

耳の汚れを確認しやすいように工夫されています。最近では、スーパーやドラッグストアでもよく見られるようになりました。

〈視覚補助具〉 **タイポスコーフ**

読みたい文書の上に置けば、行を読み間違えることが少なくなります。弱視者向けの補助具です。また、黒い囲みは、まぶしさを軽減し、読みたい部分のコントラストをはっきりさせる効果があります（文書に使われる紙は白色が多いため）。また、求心性の視野狭窄や中心部での入り組んだ狭窄のある方には、偏心固視獲得がスムーズになります。

また、サインガイド（書くべき所を分かりやすくする補助具）として活用することもできます。

〈視覚補助具〉 **はがき・封筒宛名書き 定規セット**

弱視者は、視野が限られることも多いため、はがきや封筒の宛名を書くときに、バランスをうまくとることが難しいことがよくあります。また、バランスよく書けないことを気にする弱視者も少なくありません。宛名を書く場所を分かり安用に示すための補助具です。

〈視覚補助具〉 **ロービジョン オセロ**

弱視者や全盲者でも楽しく遊べるように、盤やコマに突起等で印が付けられています。

〈視覚補助具〉 **点字トランプ**

点字がついたトランプ。点字が表面についたものと、裏面についたものの2種類があります。

弱視者用に、拡大トランプも販売されています。

〈視覚補助具〉 **拡大文字・点字付き本**

墨字使用者と点字使用者が同じ本を使って学べるよう工夫されています。

生活の中にある点字

最近では、駅やエレベーターなどの公共の施設だけでなく、家電や食品にも点字がほどこされています。

〈視覚補助具〉 **ロービジョン定規**

使用するのはおもに弱視者ですが、全盲者も使えるように工夫されています。工夫点は、突起や、地色と文字のコントラストなど。また、裏面には、長さを計るときにすべりにくいよう、すべりどめもつけられています。